商工会だより4月号　号外

退職・異動のお知らせ（令和2年3月31日付）

大変お世話になり、本当にありがとうございました。

【退職　城野　克己】

この度、令和2年3月31日をもちまして定年退職をいたしました。昭和57年10月、右も左もわからない若輩者の私を37年の長きに渡り会員皆様に支えていただき、ご指導いただいたお陰をもちまして、無事定年を迎えることが出来たことに心より感謝しております。

この37年間を思い返せば、最初の10年は「仕事を覚えるのに必死」、次の10年は「仕事をこなすのに必死」またその次の10年は「仕事の質を高めるのに必死」そして最後の7年は「仕事の管理業務に必死」だったような気がします。

とりわけ思い出に残るのは、平成26年5月に旧木津町・旧山城町そして旧加茂町の3町商工会が合併し、府内2番目に大きな木津川市商工会が誕生し、新たな会員の皆様との出会いがあり、今まで以上に気を引き締め業務に向かい合いました。

そして何より木津川市は、全国屈指の人口増加率を誇り、それに比例するかのように創業が多く活気を感じる地域で仕事が出来たことは、自分自身にとりまして貴重な経験となりました。

現在、新型コロナウィルス感染という問題に直面し、極めて厳しい状況ではありますが商工会とともに乗り切っていただきますよう心よりお祈り申し上げます。

最後になりましたが、在職中は、不行き届等多々ありご迷惑をお掛けしたとは思いますが、皆様には何卒お許しをいただき、そして退職をいたしましても、私自身も木津川市民であり、今後とも木津川市商工会の更なる発展への思いをもち続けてまいりたいと思っております。また、市内でお見かけした時には、気軽に声をかけていただきましたら嬉しく思います。

『大変お世話になり、本当にありがとうございました』

城野　克己

【退職　駒　百子】

【異動（和束町商工会）坊　直光】

【異動（連合会）山下　規夫　】

発行者　木津川市商工会
木津川市木津南垣外83-3

TEL：　0774-72-3801
FAX：　0774-72-6564
Mail：kizugawa-sci@kyoto-fsci.or.jp
URL：http://kizugawa.kyoto-fsci.or.jp

経営支援員　駒　百子　　長い間大変お世話になりました。

この度、令和2年3月31日をもって退職することになりました。
皆様には、長い間大変お世話になりありがとうございました。
平成4年4月に記帳専任職員（パート）で木津町商工会にお世話になり、子育てをしながら会員の皆様に、色々なことを教えていただきました。
正職員になった時も私にできるだろうか、不安だった時、会員さんの「よかったね、がんばりや」という一言が大変嬉しく、励みになりました。
嬉しい事、楽しい事、悲しい事、色々ありましたが、28年間商工会で続ける事ができたのも、周りの職員の方々や、会員の皆様に助けていただいたおかげで勤めさせていただき、心から感謝いたします。まだまだお返し出来ていませんが、これまでに得た貴重な経験を生かしてこれからも頑張っていきたいと思います。　木津にいますので、どこかでお会いしたら声掛けしてください。
末筆になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

駒　百子

経営支援員　坊　直光　　本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

平成2年に旧加茂町商工会に入社し、会員の皆様には何もわからない新米の私を温かく見守り育てて頂きました。そのお蔭で30年もの長きに亘り旧加茂町商工会・木津川市商工会で働くことが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
入社当時の業務は、地域振興業務が活発で地域住民の皆様に喜んでいただくために、会員の皆様と夜遅くまでイベント等の事業を行ったことが、良い思い出として記憶に刻まれております。
その後、会員さんへの経営改善・金融・税務・労務等の業務をする機会が増え、目的を達成した時や問題の解決に至った時には「ありがとう」の言葉を多く頂く様になりました。日々の業務の中で苦しい事が沢山ありましたが、今となっては「ありがとう」の言葉が支えとなり、30年も仕事を続けることが出来ました。
現在、新型コロナウイルスの影響で、経営環境が厳しい状況が続いておりますが、このような時にこそ商工会に相談して頂き、国や政府系金融機関の提供する補助金や借入金（無利子）等を活用し、この苦境を乗り切ってい頂きたいと考えております。
今後は、今まで培った経験を活かし、生まれ育った和束町商工会で会員皆様のために一生懸命がんばります。そして近隣町村を含め大きな目線で商工会運営及び会員支援を考え行きたいと思いますので　これからも引き続きよろしくお願い致します。

坊　直光

経営支援員　山下　規夫　　みなさま、ありがとうございました。

平成28年4月に商工会合併後の木津川市商工会に着任し、4年間ではありましたが、会員事業所みなさまの事業に懸ける思いに触れ、刺激を一番に受けたのは自分自身であったことに感謝しております。
元々、合併前の旧加茂町商工会を皮切りに、旧山城町商工会、再度の旧加茂町商工会、京都府商工会連合会を経て、木津川市商工会となった木津本所に勤務となりました。
木津川市内3地域を全て廻る経験をさせてもらえたことは、事業所さんの伴走支援をする上でも大きな糧となりました。
思い起こすと、私が木津川市内を離れている間、商売や商工会を取り巻く環境も随分変わり、平成26年5月には、木津川市商工会となって現在の形になっていました。
合併商工会のメリットもあって、多様な経営支援員が同僚にいるということは心強い味方でもありました
また、他地域に比べて、創業相談が多いことも木津川市が無限の力を秘めている地であり、そこで仕事をさせてもらえたことは、自分自身の色々な経験につながりました。
目下のコロナショックを始め、商売の環境は極めて厳しい状況にあると言わざるを得ませんが、この苦境を商工会とともに乗り切り、事業所みなさまの益々のご繁栄を願ってやみません。
在任中は、不行き届きな点もあり、ご迷惑をおかけしましたが、次なる赴任地の京都府商工会連合会でも事業所さんファーストで精進してまいります。
みなさま、ありがとうございました。

山下　規夫